

最初にやるべきこと

サービス提供責任者がまずすべきは「知識をつけること」

要は「お勉強」です

- 「担当者会議のやり方」「計画書作り方」よりも先に学ぼう
- ルールを知らなければ 試合はできない
- 持ち件数が少なく時間がある今だからこそ"学ぶ時間"を 取る

ルールを知らない野球選手はいません ルールを知らなければ 観戦もできません 介護の世界も同じです「まず知ること」 それがスタートラインです!



ありがちな落とし穴

「分かっているけど あとでいいや ...」

- 面倒で後回しにする
- 先輩や上司の"又聞き"で覚える
- 不確かな噂に振り回される

知識を"人づて"で済ませるといつか必ず行き詰まります



サ責・ケアマネの基本業 務

自分の仕事を説明できますか?

◆サービス提供責任者の主な業務

- 1. サービス調整
- 2. モニタリング
- 3. ケアマネへの情報提供
- 4. 担当者会議への出席
- 5. 訪問介護計画書の作成・変更・交付
- 6. ヘルパーへの伝達
- 7. 実績管理
- 8. 勤務割の作成
- 9. ヘルパーへの研修・指導
- 10. その他必要な業務:身体拘束・虐待・不正・ハラスメント・ 事故報告・BCP対応など

◆ケアマネジャーの主な業務

- 1. 介護申請の援助
- 2. 一連のケアプラン業務(アセス・会議・プラン・モニタリング)
- 3. 入院・入所時の情報提供
- 4. その他必要な業務:身体拘束・虐待・不正・ハラスメント・事故報告・BCP対応など

あなたはこれを 例えば テレビで説明できるレベルで理解していますか?

他人の知識で仕事していないか?

「他人からの又聞き」で済ませていませんか?

- 他事業所の噂に影響される
- 県外・他圏域のルールと混同する
- 実地指導の話題で右往左往

自分の中に「一本の芯」がないと、介護の世界では不安が尽きません



唯一の解決法



揺るがない自信を持つたった一つの方法

スピリチュアルでも 情報商材でもありません ルールを知る人だけが 介護の現場を支配できる

例えば こういう時どうする?

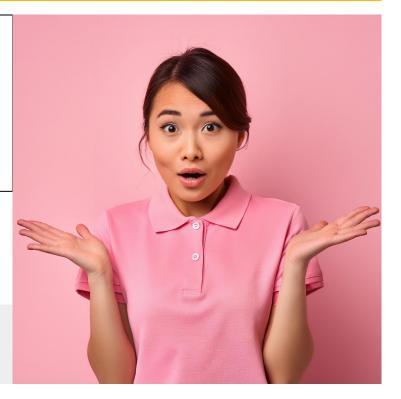
例: 45分未満の生活援助に 3分の移乗介助が入る場

合

あなたならどう判断しますか?

- 生活援助2?
- 身体1+生活1?
- 有償サービス?

こうした判断を 1分でできなければ、実戦では通用しません その力をつけるには、赤本・青本しかないのです



理解すれば 世界が変わる



赤本・青本を理解すればできること

- ✓ 実地指導にビビらない
- ✓ お客様の要求に根拠をもって対応
- ☑ 意味のないケアプランを断れる
- ✓ 社内外から信頼される
- ✓ 地域・行政の会議で意見できる

ルールを理解していれば、迷いが消えます 「わからない」は最大のストレスです

できない理由を並べるな!

「読むのが苦手」

「眠くなる」

「頭いい人はいいよね」...

---まず"ガチ"でやってみろ!

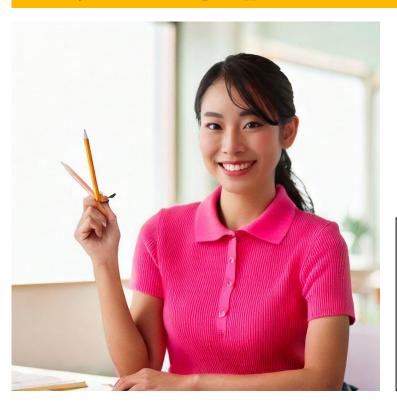
- 赤本・青本は実質10ページていどしかない
- 1か月あれば十分理解できる
- やる前に逃げても何も変わらない

明日やっても 明日のあなたがやるのは "今"

人間が変われるのは "今"だけです 明日やろうと思う人は、永遠に変わらない



努力の価値



知識は 使えば使うほど深まる

- ⊕ 一度理解したことは忘れない
- ⊕ 使うたびに自信になる
- ⊕ あなたの中に"揺るがない軸"ができる

眠くなる人⇒

一度に全部読もうとするから 苦手なら 毎日一行だけやればいい 一行でも理解できれば それは一 歩前進

自分はバカだからと思っている人⇒

バカだと思うなら いったん後先考えず "ガチ"で努力してみてはどうでしょう?

結論



サ責・ケアマネに贈る、たった一つの真実

「赤本・青本さえ理解していれば 介護のほとんどの問題は全部解決する」

世界を変えるのは、今この瞬間に真剣になるあなたです